

作成日：令和8年1月19日

令和7年度 第1回ケアホームふじのみ地域連携推進会議報告書（県営）

1、日時：令和8年1月19日（月）10：00～12：00

2、場所：新所沢まちづくりセンター学習室2号

3、出席者：利用者代表 A氏
 保護者代表 B氏
 保護者代表 C氏
 地域代表 D氏
 職員 E
 職員 F
 職員 G

4、次第 10：00～

(1) 開会

①挨拶：職員E

②地域連携推進会議要綱に基づいた議長の選出：互選

③議長決定：職員F

④書記指名：職員G

(2) 自己紹介

10：10～

(3) 報告・協議事項（別紙資料参照）

①地域連携推進会議について：職員Fより説明

地域代表D氏より、

今回は初回という事もあり、自分1人の参加となっているが、
今後は参加メンバーを増やしていく予定なのか。との質問
あり。

職員Fより、

施設内の情報もお伝えする事になるため、参加メンバーは検
討させていただくが、今回の参加メンバーを中心に、今後は
回ごとに違う方に参加していただく事を想定している。と
回答する。

②事業所説明：職員Fより説明

③利用者の日常の様子について：職員Fより説明

④事故・ヒヤリハット報告：職員Fより説明

保護者C氏より、

事故・ヒヤリハット報告として薬と離園の問題が多いという印象がある。2つの課題に対してどう対応しているのか。

との質問あり。

職員Fより、

薬に関しては、服薬支援を行うまでに複数の職員が関りチェックしているが、そのチェックをすり抜けて事故がおこってしまっている。事故がおこる度に職員に事故内容、服薬支援手順の周知を行い再発防止に努めている。

離園に関しては、対象利用者が入居している棟の窓にダイヤルロックを設置する物理的な面での対応と合わせて「なぜそういった行動があるのか」についても職員間で話し合う時間を設けた。移動支援を定期的にご利用し、外出・買い物をしたいという本人の気持ちに対応する事で現在は離園しようとする様子は減ってきている。と回答する。

保護者C氏より、

薬の事故を減らしていくためにも、担当ではない人がチェックを入れる事が大事だと思う。との話しあり。

地域代表D氏より、

今回の会議に参加した事で施設の存在を初めて知った。

存在を知る事はできたが、具体的に地域の人たちに何を願って欲しいのか。との質問あり。

職員Fより、

日常の必要な支援については職員を配置する事で対応できている。地域連携推進会議をきっかけに施設の存在を知ってもらう事で災害時に施設にも声をかけてもらえるような地域との関係性を作っていきたいと考えている。と回答する。

この回答に関して地域代表D氏より、

個人情報のため伝えられる事は限られてしまうが、住民は様々な理由から補助等を受けている方が多く入居している。自分の事だけで精一杯といった方が多くいるため、有事の際に、協力を期待するのは難しいかもしれない。との話しあり。

職員Fより、

災害等の非常時も職員が対応できるよう準備を行っている。

今回の会議を通してこういった施設があったなど気にかけていただけるきっかけになって欲しいと考えている。と回答する。

11：00～

(4) 施設見学

地域代表 D 氏より、
今回の会議に参加した事で、県営、松郷・下富がどういった施設なのか、施設の存在を知る事ができてよかった。との話しあり。

12：00 閉会

以上